

## 2 日常生活の状況について

(1) 近所の人との付き合い方について、65歳以上の人の82.8%が「会えば挨拶をする」、57.3%が「外でちょっと立ち話をする」と回答している。

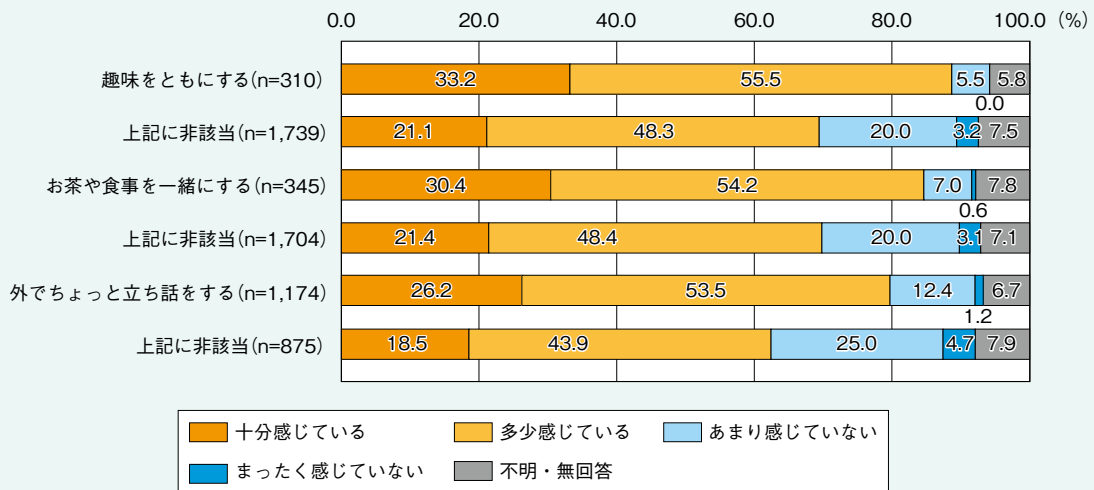
近所の人との付き合い方を見ると、「会えば挨拶をする」(82.8%)が最も高い。次いで、「外でちょっと立ち話をする」(57.3%)、「物をあげたりもらったりする」(50.8%)となっている。また、男性よりも女性の方が、「外でちょっと立ち話をする」「物をあげたりもらったりする」などと回答した人の割合が高い(図1-3-2-1)。

また、近所の人との付き合い方別に生きがいを感じる程度を見ると、生きがいを「十分感じている」と回答した人の割合は、「趣味をともにする」と回答した人では33.2%、「お茶や食事を一緒にする」と回答した人では30.4%、「外でちょっと立ち話をする」と回答した人では26.2%と、いずれもこうした付き合いをしている人に比べ、高くなっている(図1-3-2-2)。

図1-3-2-1 近所の人との付き合い方(複数回答)(年齢・性別)

		会えば挨拶をする	外でちょっと立ち話をする	物をあげたりもらったりする	相談ごとがあった時、相談したり、相談されたりする	お茶や食事を一緒にする	趣味をともにする	病気の時に助け合う	家事やちょっとした用事をしたり、してもらったりする	その他	不明・無回答
65歳以上	全体(n=2,049)	82.8	57.3	50.8	20.3	16.8	15.1	7.5	7.3	2.9	0.7
	男性(n=984)	83.9	50.9	46.2	17.2	10.1	14.5	6.0	7.3	2.0	0.4
	女性(n=1,065)	81.7	63.2	54.9	23.2	23.1	15.7	8.9	7.2	3.8	1.0
65~74歳	男性(n=565)	86.0	49.0	43.4	12.6	6.2	10.6	3.4	5.5	1.8	0.2
	女性(n=545)	84.2	68.4	54.7	21.3	22.6	12.3	6.6	3.5	1.8	0.2
75歳以上	男性(n=419)	81.1	53.5	50.1	23.4	15.3	19.8	9.5	9.8	2.4	0.7
	女性(n=520)	79.0	57.7	55.2	25.2	23.7	19.2	11.3	11.2	5.8	1.9

図1-3-2-2 生きがいを感じる程度について(近所の人との付き合い方別)



※ 四捨五入の関係で回答した人の割合の合計が100.0%とならない場合がある。

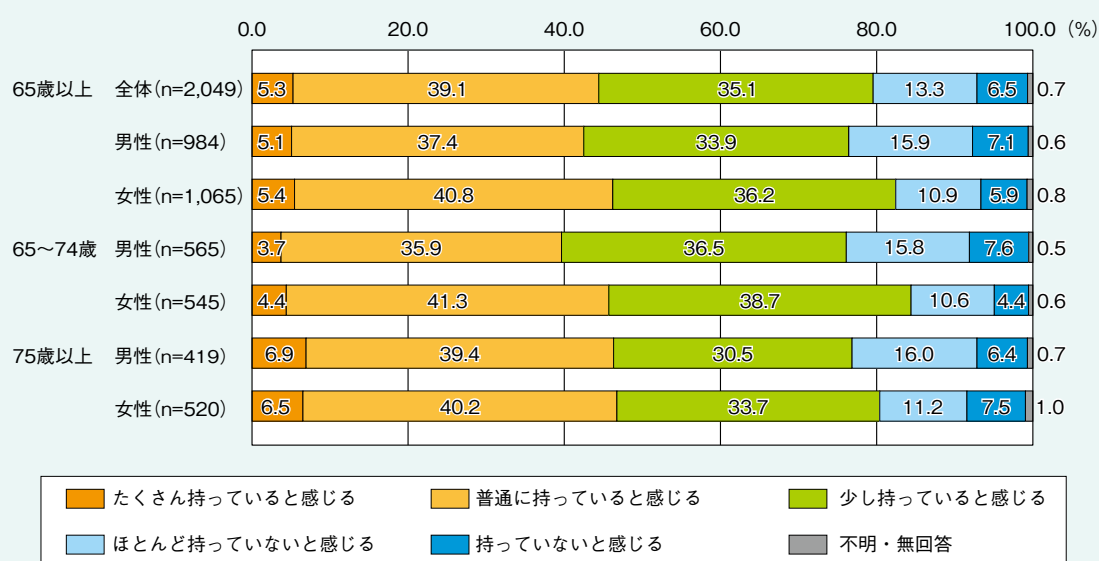
(2) 親しくしている友人・仲間について、65歳以上の人の79.6%が親しくしている友人・仲間を持っていると感じている。

親しくしている友人・仲間について、「普通に持っていると感じる」(39.1%)が最も高く、次いで、「少し持っていると感じる」(35.1%)となっており、「たくさん持っていると感じる」(5.3%)を合わせ、79.6%が親しくしている友人・

仲間を持っていると回答している(図1-3-2-3)。

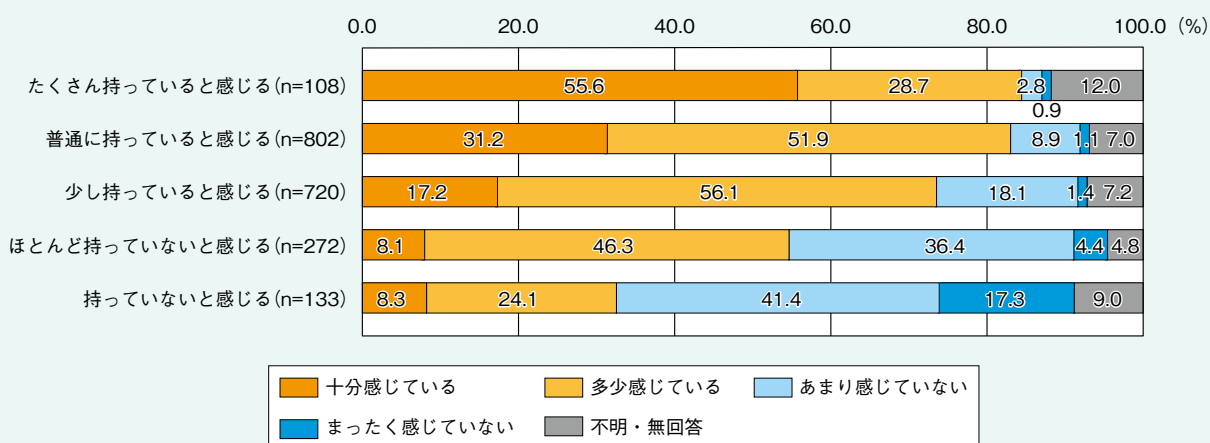
また、親しくしている友人・仲間を、より多く持っていると感じた人ほど、生きがいを「十分感じている」と回答した人の割合は高くなっている(図1-3-2-4)。

図1-3-2-3 親しくしている友人・仲間をどの程度持っていると感じるか(年齢・性別)



※ 四捨五入の関係で回答した人の割合の合計が100.0%とならない場合がある。

図1-3-2-4 生きがいを感じる程度について(親しくしている友人・仲間を持っている程度別)



※ 四捨五入の関係で回答した人の割合の合計が100.0%とならない場合がある。

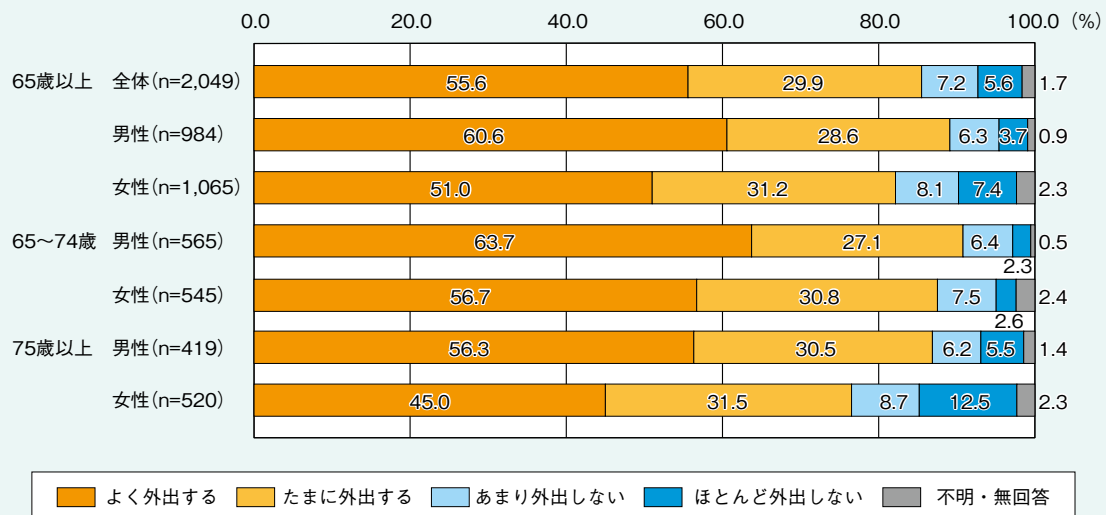
**(3) ふだんの外出について、65歳以上の人の85.5%が「よく外出する」「たまに外出する」と回答している。**

ふだん（散歩なども含め）外出するかを見ると、「よく外出する」が55.6%、「たまに外出する」が29.9%となっており、合計すると85.5%となっている。

65～74歳の人の方が75歳以上の人よりも「よく外出する」と回答した人の割合は高く、女性よりも男性の方が「よく外出する」と回答した割合は高い（図1-3-2-5）。

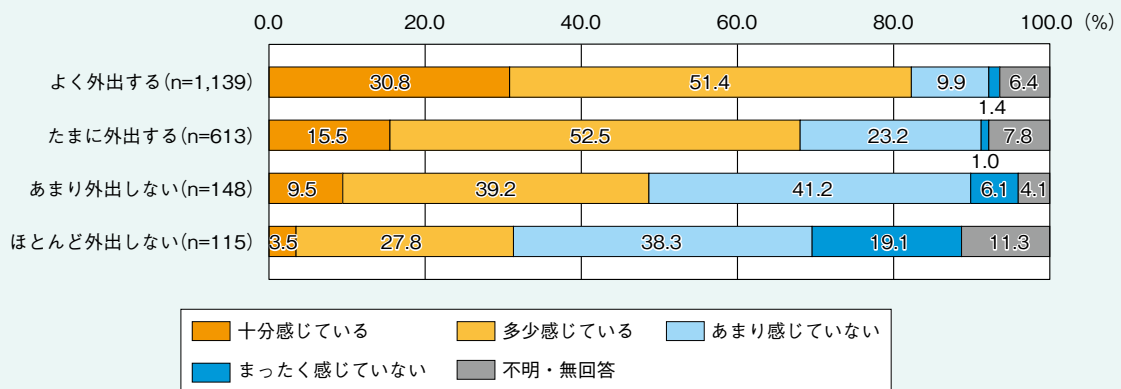
また、外出頻度が高い人ほど生きがいを「十分感じている」と回答した人の割合は高くなっている（図1-3-2-6）。

図1-3-2-5 ふだん（散歩なども含め）外出するか（年齢・性別）



※ 四捨五入の関係で回答した人の割合の合計が100.0%とならない場合がある。

図1-3-2-6 生きがいを感ずる程度について（外出頻度別）



※ 四捨五入の関係で回答した人の割合の合計が100.0%とならない場合がある。

また、高齢者が外出するに当たって不便に思ったり、気になったりすることについては、「ちょっと休むベンチや休憩所が少ない」(27.7%)、「道路に段差があったり、道路が狭い、

滑りやすい」(17.9%)、「トイレが少ない、汚い、使いづらい」(17.9%)などが多くなっている(図1-3-2-7)。

図1-3-2-7 外出に当たって不便に思ったり、気になったりすること(複数回答)(年齢・性別)

		(%)								
		ちょっと休むベンチや休憩所が少ない	道路に段差があったり、道路が狭い、滑りやすい	トイレが少ない、汚い、使いづらい	夜間の道路照明が暗い、街路灯が少ない	歩道がない、または歩道が狭い、歩きにくい	駅に階段が多く、エスカレーター、エレベーターが少ない	駐車場、駐輪場が少ない	バスや電車の車両のステップが高く、利用しにくい	
65歳以上	全体(n=2,049)	27.7	17.9	17.9	16.8	15.6	8.1	7.1	5.3	
	男性(n=984)	24.7	14.3	20.8	16.8	15.0	6.7	9.8	3.2	
	女性(n=1,065)	30.4	21.2	15.1	16.9	16.2	9.3	4.6	7.3	
65~74歳	男性(n=565)	20.2	10.3	20.5	16.1	14.3	5.0	9.4	1.8	
	女性(n=545)	26.8	16.9	15.6	20.6	15.6	7.2	5.9	5.3	
75歳以上	男性(n=419)	30.8	19.8	21.2	17.7	16.0	9.1	10.3	5.0	
	女性(n=520)	34.2	25.8	14.6	13.1	16.7	11.5	3.3	9.4	

(4) 情報機器の利用内容について、65歳以上の人の23.7%が「インターネットで情報を集めたり、ショッピングをする」と回答している。

情報機器の利用内容を見ると、「インターネットで情報を集めたり、ショッピングをする」(23.7%)が最も高い。一方、「情報機器を使わない」と回答している人が17.0%となっており、中でも75歳以上の人は「情報機器を使わない」と回答した割合が高い(図1-3-2-8)。

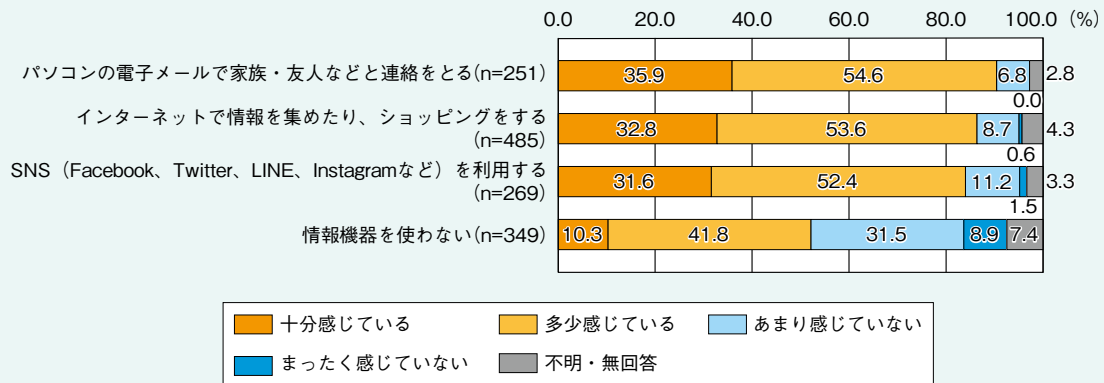
情報機器の利用内容別に生きがいを感じる程度を見ると、生きがいを「十分感じている」と回答した人の割合は、「情報機器を使わない」と回答した人では10.3%であるのに比べて、「パソコンの電子メールで家族・友人などと連絡をとる」「インターネットで情報を集めたり、ショッピングをする」「SNS(Facebook、Twitter、LINE、Instagramなど)を利用する」と回答した人では3割を超えている(図1-3-2-9)。

図1-3-2-8 情報機器の利用内容（複数回答）（年齢・性別）

		(%)			
		インターネットで 情報を集めたり、 ショッピングをする	SNS (Facebook、 Twitter、LINE、 Instagramなど) を利用 する	パソコンの電子メー ルで家族・友人など と連絡をとる	情報機器を使わない
65歳以上	全体 (n=2,049)	23.7	13.1	12.2	17.0
	男性 (n=984)	32.9	15.7	18.1	15.5
	女性 (n=1,065)	15.1	10.8	6.9	18.4
65~74歳	男性 (n=565)	44.2	21.6	22.3	8.5
	女性 (n=545)	24.0	15.8	9.7	7.5
75歳以上	男性 (n=419)	17.7	7.6	12.4	25.1
	女性 (n=520)	5.8	5.6	3.8	29.8

※ 「情報機器の利用内容」の回答項目は、「パソコンの電子メールで家族・友人などと連絡をとる」「インターネットで情報を集めたり、ショッピングをする」「SNS (Facebook、Twitter、LINE、Instagramなど) を利用する」「ファックスで家族・友人などと連絡をとる」「携帯電話・スマホで家族・友人などと連絡をとる」「ホームページやブログへの書き込みまたは開設・更新をする」「ネットバンキングや金融取引（証券・保険取引など）をする」「国や行政の手続きをインターネットで行う（電子政府・電子自治体）」であり、「情報機器を使わない」とは、これらのいずれにも該当しない人をいう。

図1-3-2-9 生きがいを感じる程度について（情報機器の利用内容別）



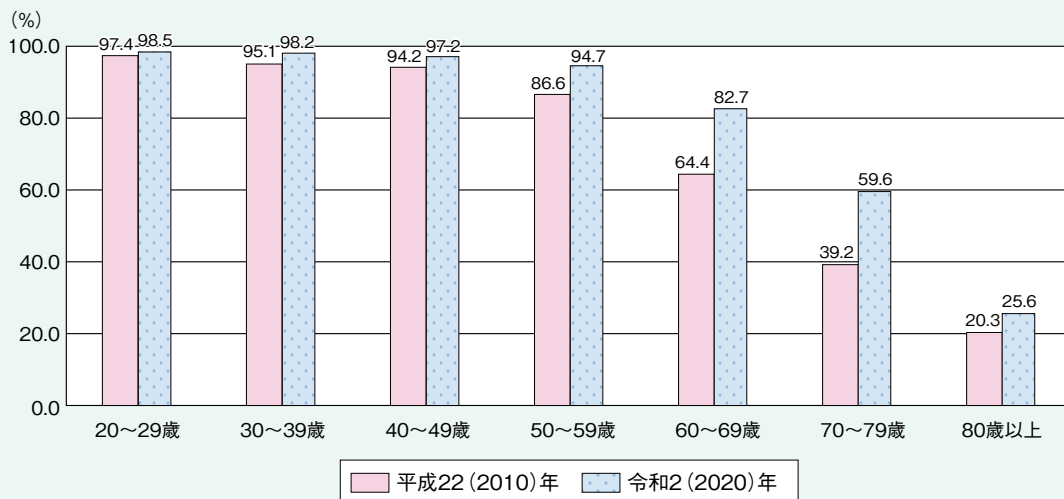
※ 四捨五入の関係で回答した人の割合の合計が100.0%とまらない場合がある。

(参考) 総務省「通信利用動向調査」より  
インターネットを利用する人が増加傾向

過去1年間にインターネットを利用したことがあるかについて、利用者の年齢階級別に10年前と比較すると、70～79歳が20.4ポイント

増、60～69歳が18.3ポイント増となっている(図1-3-2-10)。

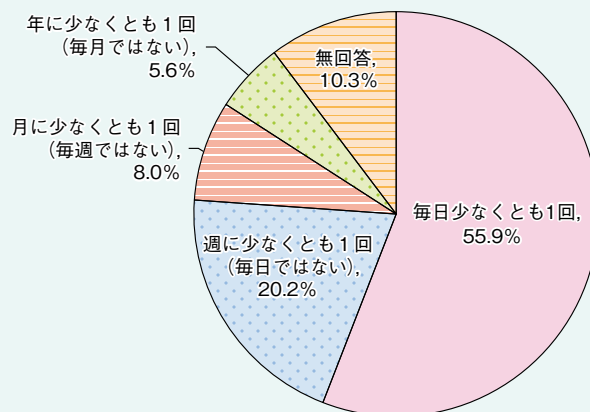
図1-3-2-10 利用者の年齢階級別インターネット利用率(年齢別)



資料：総務省「通信利用動向調査」  
(注) 無回答を除く。

また、インターネットを利用したことがあると回答した65歳以上の者の使用頻度について見ると、55.9%が「毎日少なくとも1回」は利用していると回答している(図1-3-2-11)。

図1-3-2-11 インターネットの使用頻度(65歳以上のインターネット利用者)



資料：総務省「通信利用動向調査」(令和2年)  
※ 四捨五入の関係で回答した人の割合の合計が100.0%とならない場合がある。